

愛知県トラック事業健康保険組合から加入者様へ

『慢性腎臓病重症化予防に伴う受診勧奨通知のご案内』について

平素は、当組合の医療費適正化にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当組合では、加入者の皆様の健康維持増進策として、生活習慣病の予防及び重症化予防を目的とした特定健康診査・特定保健指導を実施しております。

併せて、令和1年度の一次検診の検診検査値が、医療機関への受診勧奨値にあたる方で、医療機関への受診をされていない慢性腎臓病（CKD）のリスクがある方を対象に、本通知を被保険者宅宛に送付しております。このまま放置されますと、腎機能が低下し、やがて慢性腎不全を発症後、透析治療が必要となり、透析治療を開始しないと生命に関わってくる可能性があります。特に、高血糖の方は要注意です。

医療機関を受診することによって、健保加入者様の病気の重症化を予防及び医療費の節減、あるいは会社における労働者への安全配慮及び労働力の確保、生産性の向上にも繋がると考えております。

本通知作成から送付までの間に、すでに医療機関を受診された方や資格喪失（抹消）された方につきましては、行違いでの発送をご容赦下さい。

尚、事業主様より、当組合に対して受診勧奨該当者の確認依頼があった場合は、その旨ご報告させていただきます場合がございますので、宜しくお願い致します。

※ お住まいのお近くの腎臓専門医につきましては、【一般社団法人 日本腎臓学会】のホームページにて腎臓専門医の検索が可能です。

一般社団法人 日本腎臓学会ホームページ内、腎臓専門医検索ページ
<https://www.jsn.or.jp/specialist/listindex.php>

※ 日本腎臓学会には、医師などの専門家が常駐されておられません。ご病状や治療に関するご質問・ご相談の受付ならびに医師や病院の紹介はされておられませんので、ご了承ください

※ 新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと講じた上で、医療機関を受診していただきます様、宜しくお願い致します。又、感染拡大している状況の場合は、受診をお控えください。

当健康保険組合では、健診後のフォローアップとして、健診結果により腎機能のリスクのある方に情報提供を行っております。
 現在も医療機関未受診の場合は、早めに腎臓内科または内科の医師の診察をお受け下さい。
 (すでに産業医やかかりつけ医師から指示を受けている場合、その指示に従って下さい。)

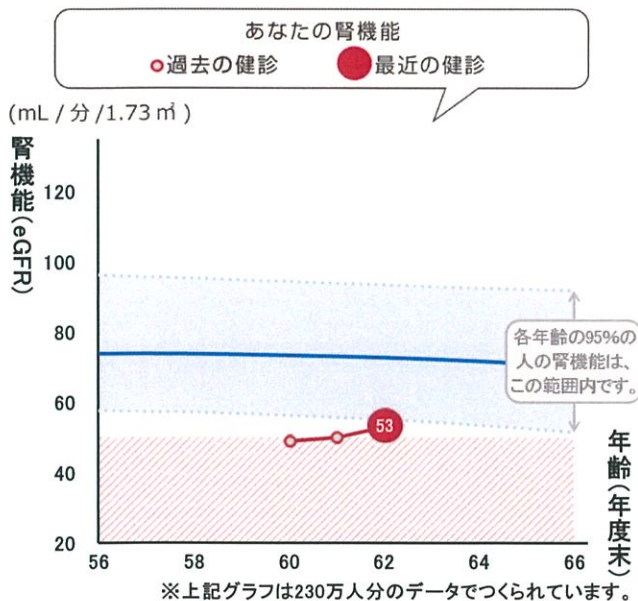
健康保険組合からのお知らせです
 〒467-0856
 愛知県名古屋瑞穂区新開町12-6
 愛知県トラック事業健康保険組合
 TEL:052-882-9686



あなたの腎機能の状態をグラフで確認してください

このグラフは、年齢に合わせた腎機能の分布を示しています。真ん中の実線は年齢平均で、上と下の点線の範囲内に95%の人が分布していることを示しています。

赤い範囲に入ると、腎機能が著しく低下し**慢性腎臓病の可能性が高い状態**です。



あなたの腎臓の注意ポイント

腎臓の働き
(推算糸球体濾過量)

腎の働き(機能)が軽度～中等度低下している状態です。医師を受診してください。

53.7 ☹️
mL/分/1.73m²

※eGFRの数値は、小数点第2位を切り捨てています。

腎機能が悪くなる速さ
一般的には毎年0.6mL/分/1.73m² 高速機能が低下します

腎の働き(機能)は年齢相応の低下スピードです。

3.7 ☺️
mL/分/1.73m² 変化しました

腎臓が傷ついた状態
(蛋白尿)

腎不全や心血管系の病気発生のリスクが大きくなっている可能性があります。

(+) ☹️
高度蛋白尿

腎臓機能の悪化に影響する検査結果

腎臓の状態					血圧の状態		血糖の状態		脂質の状態			尿酸の状態
あなたの健診結果	尿蛋白	血清クレアチニン (mg/dL)	eGFR (mL/分/1.73m ²)	(前回健診比) ※ eGFRの変化	血圧 収縮期 (mmHg)	血圧 拡張期 (mmHg)	空腹時血糖 (mg/dL)	HbA1c(%)	中性脂肪 (mg/dL)	LDL(mg/dL) コレステロール	HDL(mg/dL) コレステロール	尿酸値 (mg/dL)
2019/09/11	+	0.83	53.7	3.7	139	84	86	5.6	128	131	64	4.7
2018/09/20	-	0.89	50.0	0.4	148	86	84	5.5	114	158	78	4.8
2017/08/16	-	0.90	49.6		159	94	89	5.6	154	132	61	4.4

※eGFRの変化=年間 5mL/分/1.73 m²以上の低下、または 25% 以上低下している時には急速な腎臓機能の悪化の可能性がります。

内科医師にこの検査結果を見せましょう!

健診受診月
2019年09月

作成月
2020年10月

監修/木村健二郎
(JCHO東京高輪病院院長
腎臓専門医/高血圧専門医)

⚠️ 早めに医師の 診察を受けましょう。

※腎臓内科または内科

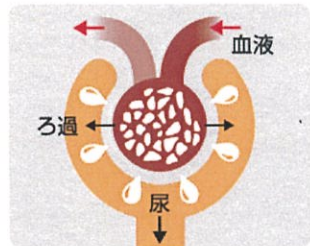
健診結果から、あなたは人工透析を必要とする**末期腎不全**や入院や高度医療を必要とする**脳卒中**や**心筋梗塞**を発症するリスクのある慢性腎臓病(CKD)である可能性があります。早期に受診し、今の状態を維持し、これ以上悪くならないよう治療や生活習慣の改善に努めましょう。

あなたの腎臓のろ過能力は
47%
低下しています



人工透析

週に複数回通院し、数時間かけて血液を浄化する治療法です。



糸球体 しきゅうたい

余分な水分や老廃物は糸球体で濾過されて、体外に尿として排泄されます。糸球体は片方の腎臓※に約100万個存在しますが、この濾過能力(濾過量)をGFRと言います。



※イメージ図

● あなたの腎機能が失われている割合を示しています。

- 慢性腎臓病(CKD)とは、慢性(3カ月以上)に経過するすべての腎臓の病気のことを指します。腎臓はあなたの身体を正常な状態に保つ重要な役割を担っているため、CKDによって腎臓の機能が低下し続けることで、さまざまな病気の危険が発生します。
- 腎臓は一度あるレベルまで悪くなってしまうと、その後進行性に悪化することが多いです。
- CKDは、自覚症状がないことが特徴です。●生活習慣病との関連も深く、誰もがかかると可能性のある病気です。

※左右の腎臓に合わせて200万個の糸球体があります。